流山市在宅医療介護連携推進事業

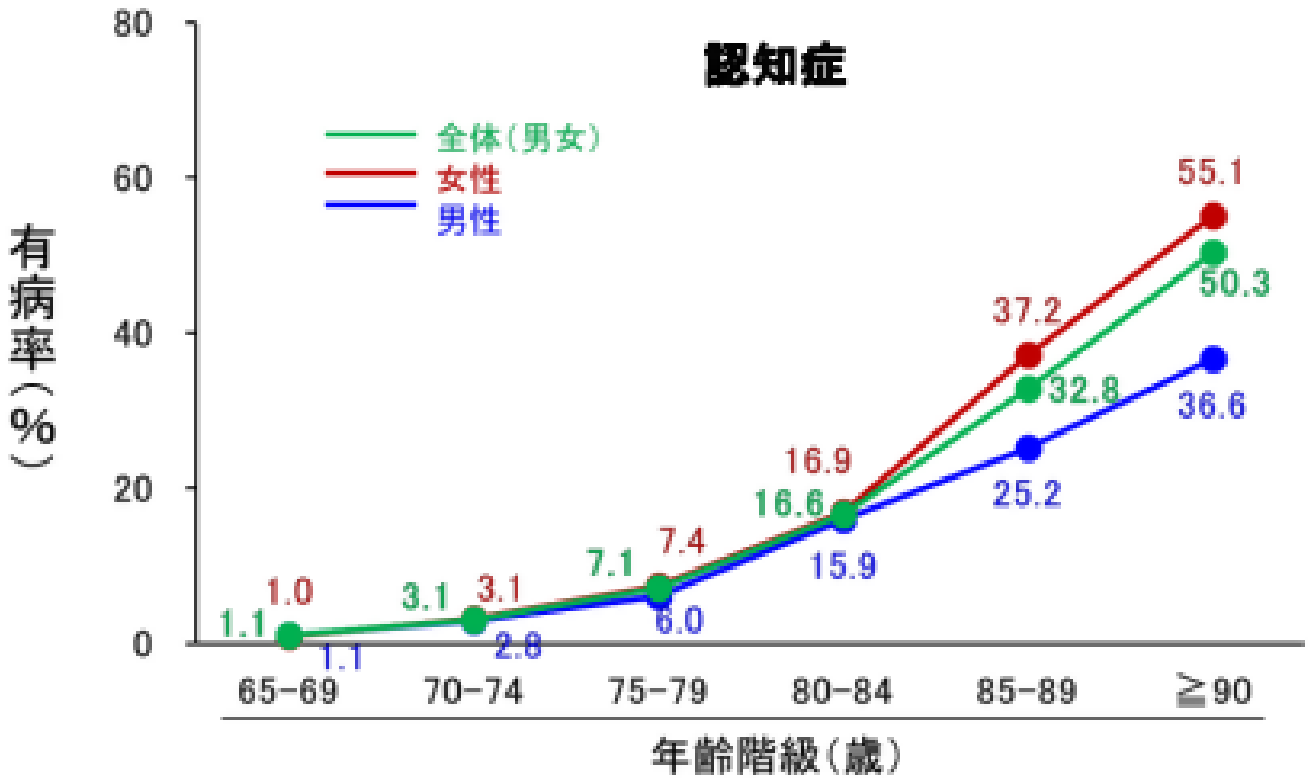
令和７年度　第３回
流山市在宅医療介護連携推進会議

流山市役所健康福祉部介護支援課
令 和 ７ 年 ９ 月 １ ９ 日 （ 金 ）

議題１

流山市認知症施策について

年齢階級別の有病率（2022年時点）



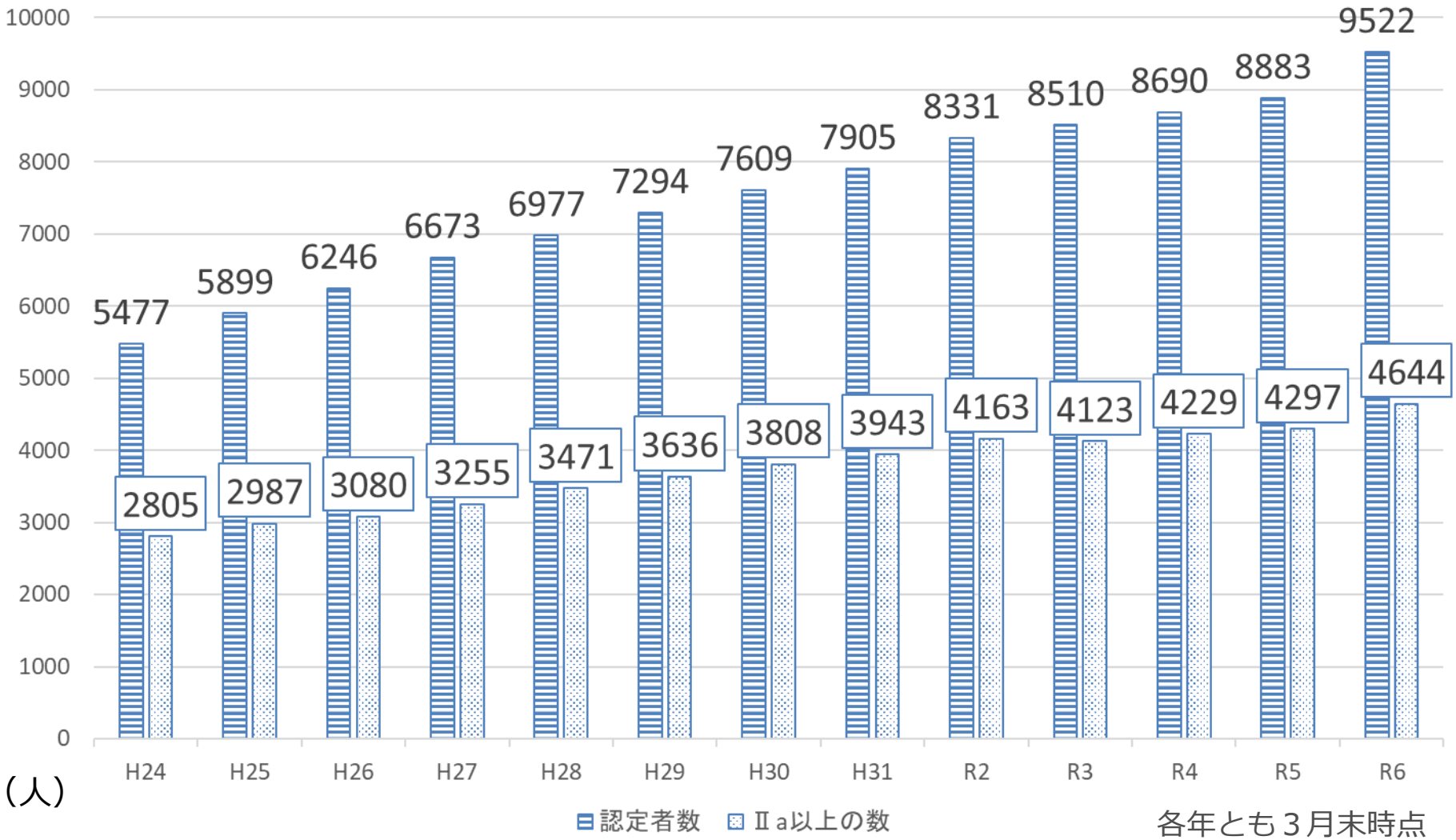
高齢者数と有病率の将来推計

年	令和4年（2022）	令和7年（2025）	令和12年（2030）	令和22年（2040）	令和32年（2050）	令和42年（2060）
認知症高齢者数	443.2万人	471.6万人	523.1万人	584.2万人	586.6万人	645.1万人
高齢者における認知症有病率	12.3%	12.9%	14.2%	14.9%	15.1%	17.7%

資料：「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」（令和5年度老人保健事業推進費等補助金 九州大学 二宮利治教授）より厚生労働省にて作成

流山市の要支援・要介護認定者で認知機能に支障を抱えるものの状況

要介護等認定者のうち認知症高齢者の日常生活自立度がⅡａ以上
（主治医による評価）の人数の推移



各年とも３月末時点

これまでの国の認知症施策の主な取組み

2000年（平成12年）
介護保険法施行。認知症に特化したサービスとして、認知症グループホームが創設

2004年（平成16年）
「痴呆」→「認知症」へ用語の変更

2005年（平成17年）
認知症サポーターの養成開始

2012年（平成24年）
オレンジプランを策定（9月）

2015年（平成27年）
新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）を策定

2017年（平成29年）
介護保険法改正に伴い、地域支援事業に認知症総合支援が明記

2019年（平成31年・令和元年）
共生と予防を目指す「認知症施策推進大綱」が関係閣僚会議で決定

2023年（令和5年6月14日）
「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」成立

2024年（令和6年12月）
基本法に基づく「認知症施策推進基本計画」が閣議決定
※都道府県・市町村における推進計画策定が努力義務

共生社会の実現を推進するための認知症基本法
（R5.6.14成立　R6.1.1施行）

目的

認知症の人が尊厳を保ちつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進し、共生社会の実現を推進する。

基本理念

7つの基本理念

ポイント

・市町村には認知症施策推進計画の策定が努力義務
・基本的人権の理念のもと、共生社会の実現や当事者参画がもとめられている

新しい認知症観

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方

古い認知症観

（他人事、他者視点、問題重視、疎外、絶望）

❶他人ごと、なりたくない、目をそらす、先送り

❷認知症だと何もわからない、できなくなる

❸本人は話せない／声を聞かない

❹おかしな言動で周りが困る

❺危険重視、過剰制限しても仕方ない

❻周囲が決める

❼本人は支援される一方、負担の存在

❽地域で暮らすのは無理

❾認知症は恥ずかしい、隠す

❿暗い、萎縮、あきらめ、絶望的

新しい認知症観

（わがこと、本人視点、可能性重視、ともに、希望）

❶わがこと、お互いさま、向き合う、備える

❷わかること、できることが豊富にある

❸本人は声を出せる／声を聞く

❹本人が一番困っている。本人なりの意味がある。

❺あたりまえのこと（人権）重視。自由と安全のバランス

❻本人が決める（決められるように支援）

❼本人は支え手でもある。経験者として大切な存在

❽地域の一員としてともに暮らす　＊施設入所後も

❾認知症でも自分は自分、自然体でオープンに。

❿楽しい、のびのび、あきらめず、希望がある

「本人の声を起点とした認知症地域支援体制づくりガイド（H29 年度厚労省老健事業）」をもとに東京センター作図）

参照　社会福祉法人浴風会　認知症介護研究・研修東京センター、認知症地域支援推進員ガイド、2023.3月、p6

流山市の認知症施策
（第9期高齢者支援計画）

【施策目標】

認知症についての早期診断や適切な医療・介護連携体制の整備等、
認知症となっても地域で希望を持って日常生活を過ごせる社会を
目指して、認知症の方やその家族の視点を大切にした取組の推進

【認知症施策の体系】

①認知症への理解を深めるための普及啓発

②医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

③認知症の方を支える地域づくり

①-1認知症への理解を深めるための普及啓発

令和6年度実績

【認知症サポーター養成講座】

▶認知症に関する正しい理解の普及を図り、学校や地域の市民に向けて講座を実施

・サポーター養成講座修了者：23,421人（昨年比約1,000人増）Ｒ７.３時点

・フォローアップ講座
東部及び中部高齢者なんでも相談室において開催

【認知症に関するイベントの開催】

▶認知症の正しい理解、認知症になっても住み続けられる地域づくり推進のための啓発活動

〇VR認知症体験会

・森の図書館9月6日　22名参加

・薬局ハカラメディコ9月7日　15名参加

・流山健康いきいきフェア2024内VR認知症体験ブース
11月30日　50名参加、12月1日　59名参加

令和6年度実績

①- 2 認知症への理解を深めるための普及啓発

〇認知症講演会

・「認知症とともに生きる」～認知症と薬について・認知症当事者の思い～

・ちばオレンジ大使、薬剤師の方より講演

・57名参加

〇広報ながれやま　9月21日号1面

・認知症の早期発見、早期相談について（相談先・ケアパスの紹介）

・認知症の方を介護されるご家族のインタビュー：北部地区在住の方

令和6年度実績

②-1医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

【認知症地域支援推進員活動】

▶市、高齢者なんでも相談室、グループホーム、小多機、特別養護老人ホーム、居宅介護支援事業所、ケアハウス、病院等の専門職による活動。定例会の開催、認知症月間の企画運営、認知症ケアパスの作成、認知症に関する相談対応等

・推進員37名　Ｒ７.４時点

・定例会議　全４回（うち１回は書面会議）

【認知症初期集中支援チーム】

▶市介護支援課専門職（保健師等）＋認知症サポ―ト医により構成。

・対応件数3件

②-２医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

令和6年度実績

【認知症ケアパス】

▶市民向け啓発冊子「認知症安心ガイドブック」

・平成29年5月～認知症地域支援推進員と共に作成・発行

・現在、令和6年2月発行分を配布・ホームページに掲載中

・令和8年度改訂予定

【認知症の方を支える家族の会】

▶介護者同士の情報共有・交流の場

・市及び各圏域で実施

・市（コスモスの会）4回開催・参加者　延べ22名

【若年性認知症の方と介護者への支援】

▶若年性認知症の方ご本人・ご家族の情報共有・交流、助言者や専門職からアドバイスを行う場

・3月1日　参加者9名（本人2名）

令和6年度実績

②-3医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

【認知症高齢者等見守り事業（二次元バーコード付き見守りシール）】

（令和4年度より家族介護支援事業による新事業）

▶認知症等により行方不明となった際に早期発見・保護を図るため、地域全体での見守り体制を構築するもの。見守り事業に登録された方は個人賠償責任保険にも加入が可能。

・登録者数86件（保険加入者77名）

【徘徊高齢者家族支援サービス事業】

▶徘徊高齢者を介護する家族を対象に、徘徊高齢者位置探索情報提供サービスの登録料の一部を助成。

・支給実績15件（令和6年度0件）

③認知症の方を支える地域づくり

令和6年度実績

【SOSネットワーク】

▶警察、市、学校、等と連携するとともに、安心メールで市民にも協力を依頼。
早期に徘徊等の行方不明者を発見・保護を目的とするもの

・ネットワークで対応　11件

【チームオレンジ】

▶認知症ご本人ご家族の困りごとと認知症サポーターをつなぐ仕組み

・認知症カフェから風流での立ち上げ協議、検討の推進

【認知症の人と家族への一体的支援事業】
（令和4年度より地域支援事業に示された新事業）

▶認知症ご本人とそのご家族が共に活動する機会と場の創出から、家族内の
良好な関係性の構築や他家族や地域との交流を推進する

・ウォーキングイベントの実施
「ながれやまウォーキングツアー＆音楽鑑賞会」（北部地域）
11月22日　参加者8組13名

令和7年度9月

認知症月間

認知症について、一緒に考えませんか？

令和7年度

9月21日は世界アルツハイマーデーです。流山市では9月の「認知症月間」にあわせて、認知症を正しく理解し、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりのため、様々なイベントを開催しています。

9／6（土）　10時～11時30分（開場9時30分）

オレンジ交流会
～みんなで楽しく音楽療法～

ピアノの美しい音色に合わせて歌や軽体操を楽しみます。今回は、認定音楽療法士の安宅和子氏をお迎えして懐かしい歌を歌ったり、身体を動かしたり皆で楽しい時間をすごしましょう♪

会場：森の図書館
定員：１０組程度
（要申込・先着順）
対象：市内在住の
認知症の方とその家族

音楽療法とは？
音楽を聴いたり
楽器を演奏した
りすることで
心身の機能を
維持・改善する
方法です。

流山市役所　介護支援課
☎：　04-7150-6531
FAX：04-7159-5055

9／13（土）　14時～15時30分（開場13時30分）

認知症講演会
「ユマニチュード®」
～優しさを伝えるコミュニケーション技法～

優しさを伝えるケア技法、ユマニチュードについて、基本的な考え方と技術についてご紹介いたします。認知症の方とより良い関係を築くために学んでみませんか。

会場：初石公民館　2階ホール
講師：上原　佳代子氏
（日本ユマニチュード学会インストラクター）
定員：１００名（要申込・先着順）
対象：市内在住・在勤の方
※手話通訳・要約筆記あり
※一時保育あり（8/22までに要申込）

流山市役所　介護支援課
☎：　04-7150-6531　FAX：04-7159-5055

9／22（月）25（木）26（金）

ＶＲ認知症体験会
「認知症の方の思いを体験してみよう」

バーチャルリアリティ（ＶＲ）の技術を活用して認知症の症状や認知症の方の視点を知ることができる体験会を開催します。認知症について「自分事」として考えてみませんか。また、２２日は相談会、２５日・２６日は認知症世界の歩き方ワークショップも行います。

●VR認知症体験＋相談会
日時：９月２２日（月）
第1回：14時～　第2回：15時～　第3回：16時～
会場：イトーヨーカドー流山店
定員：各回５名（相談会は各回１組）

●VR認知症体験＋認知症世界の歩き方
日時：９月２５日（木）１３時３０分～１５時
会場：生活クラブ風の村　から風流
定員：１２名
参加費：２００円（コーヒー・お菓子付き）

●VR認知症体験＋認知症世界の歩き方
日時：９月２６日（金）１４時～１６時
会場：特別養護老人ホーム月の船
定員：１２名

流山市役所　介護支援課
☎：　04-7150-6531　FAX：04-7159-5055

9／27（土）　14時～15時30分

認知症サポーター養成講座

「認知症サポーター」とは、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者のことです。一緒に認知症について学んでみませんか。

会場：東部公民館
定員：３０名（要申込・先着順）

東部高齢者なんでも相談室
☎：　04-7148-5665　FAX：　04-7141-2280

認知症安心ガイドブック（認知症ケアパス）

認知症の方やそのご家族が「いつどこで何をするべきか」をわかりやすくまとめた一冊です。
症状の進行にあわせた支援や、利用できる医療・介護サービスなどをあらかじめ知ることができます。
流山市役所介護支援課窓口や高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）等で配布、
市のホームページからも閲覧できます。ぜひご活用ください。
☎流山市役所　介護支援課 04-7150-6531

リンク

図書館の認知症コーナー

書籍やパンフレットで認知症について学んでみませんか。
特設展示「アルツハイマー・認知症・介護」
場所：森の図書館　☎04-7152-3200

流山市における認知症施策推進計画

【流山市の計画策定方針】

・第10期流山市高齢者支援計画（令和9年度～令和11年度）として
一体的に策定予定

【計画策定のおける重点ポイント】

・共生社会の実現を目指す
・認知症の人本人の声を尊重し、「新しい認知症観」に基づいた計画作り